

ECMカプラ端子の電圧（参考）

以下に、ECMカプラをECMに接続したときに得られる各端子のボデーアース間電圧基準値を参考として示す。各電圧を測定するときは、サービスマニュアル「故障診断」に示した注意事項を必ず守ること。

各端子電圧はバッテリー電圧に左右されるので、バッテリー電圧が10～14Vであることを確認し、またE01、E02、E03、E1の各ECMアース端子とボデーアース間に導通があることを確認してから測定を行うこと。

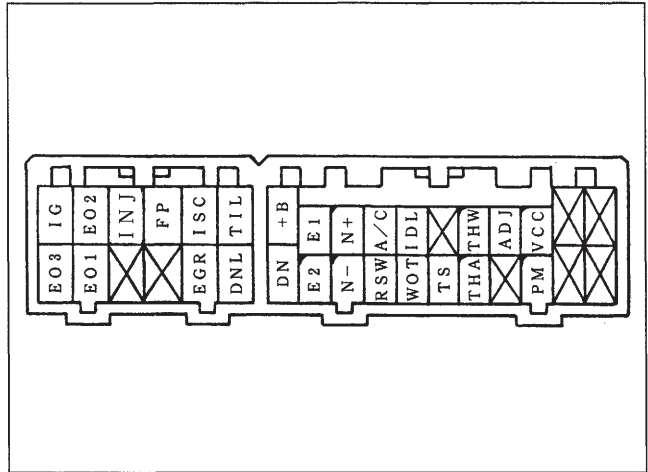


図1E-32-1 端子位置

端子	回路系統	標準電圧	測定条件
IG	イグニッションコイル	10～14V	イグニッションスイッチ：ON
INJ	フューエルインジェクタ	10～14V	イグニッションスイッチ：ON
FP	フューエルポンプリレー	2V以下	I g. スイッチONの直後数秒間
		10～14V	上記以降
ISC	ISCソレノイドバルブ	0.6～1.5V	イグニッションスイッチ：ON
		7.0～10.0V	完全暖機 アイドリング
EGR	EGR-VSV	10～14V	アイドリング
		2V以下	完全暖機状態でレーシングする
TIL	ターボインジェクターランプ	2V以下	イグニッションスイッチ：ON
DNL	ダイアグランプ&モニタカプラ A端子	2V以下	イグニッションスイッチ：ON
		10～14V	アイドリング

+B	メインリレー（ECM電源）	10～14V	イグニッションスイッチ：ON
DN	モニタカプラ B端子 （ダイアグスタートスイッチ）	約5V	イグニッションスイッチ：ON
		0.5V以下	モニタカプラ B-C間短絡
N+	クランク角センサ（+）	エンジン回転中、CAS信号が送られてくること	
N-	クランク角センサ（-）	0.5～1.0V	イグニッションスイッチ：ON
A/C	A/Cコントローラ	10～14V	A/Cコンプレッサ：OFF
		2V以下	A/Cコンプレッサ：ON
RSW	（車速センサ）	I g. スイッチONで車を押すと、0～5V間で振れる	
IDL	TPSのアイドルスイッチ	0.5V以下	スロットルバルブ全閉
		約5V	スロットルバルブ全閉以外
WOT	TPSの全開スイッチ	約5V	スロットルバルブ全閉
		1V以下	スロットルバルブ全開
TS	モニタカプラ D端子	約5V	イグニッションスイッチ：ON
		0.5V以下	モニタカプラ D-C間短絡
THW	水温センサ	約2.4V	完全冷機状態（外気温度20℃）
		約0.5V	完全暖機状態（冷却水温80℃）
THA	吸気温センサ	約2.4V	完全冷機状態（外気温度20℃）
ADJ	CO調整レジスタカプラ	約5V	レジスタ無し
		約0V	レジスタカプラを短絡して
VCC	センサ電源 （プレッシャセンサ）	約5V	イグニッションスイッチ：ON
PM	プレッシャセンサ	約2.6V	イグニッションスイッチ：ON